

NY マーケットレポート (2014年10月8日)

NY 市場では、米国の主要な経済指標の発表がなく、取引材料に乏しい中、序盤のドル円・クロス円は、やや軟調な動きとなった。しかし、その後は、堅調な株価動向を背景に、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。また、FOMC の議事録公開を控えて、早期利上げに関して楽観的な見方も広がったことから、ドルは主要通貨に対して堅調な動きとなった。しかし、FOMC の議事録では、世界経済の成長減速とドル上昇が、米経済の見通しを脅かしかねない要因と挙げられていたことや、「相当な期間」との文言に関し、コミットメントと誤解される恐れがあるとの懸念が指摘されるなど、利上げ時期に関する手掛かりが無かったことから、ドルは主要通貨に対して下落する動きとなった。そして、FOMC 議事録公開を受けて、米金利が低下したことや、株価が大きく上昇したことから、ドル/円は一転して下落したものの、クロス円は堅調な動きとなった。

2014/10/8 (水)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	108.14	108.54	107.97
EUR/JPY	136.81	137.06	136.65
GBP/JPY	173.70	174.30	173.56
AUD/JPY	95.05	95.42	94.96
EUR/USD	1.2653	1.2684	1.2622

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	108.39	107.84
EUR/JPY	137.18	136.68
GBP/JPY	174.21	173.45
AUD/JPY	95.20	94.98
EUR/USD	1.2685	1.2645

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	15595.98	-187.85
ハンセン指数	23263.33	-159.19
上海総合	2382.79	+18.92
韓国総合指数	1965.25	-7.66
豪ASX200	5241.27	-42.93
インドSENSEX指数	26246.79	-25.18
シンガポールST指数	3226.71	-17.28

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6482.24	-13.34
仏CAC40	4168.12	-41.02
独DAX	8995.33	-9.88
ST欧州600	328.00	-2.85
西IBEX35指数	10339.00	-91.70
伊FTSE MIB指数	19645.49	-126.22
南ア 全株指数	48033.62	-678.83

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	108.15	108.75	108.00
EUR/JPY	137.74	137.94	136.90
GBP/JPY	174.91	174.97	173.79
AUD/JPY	95.65	95.70	94.71
NZD/JPY	85.50	85.57	84.39
EUR/USD	1.2737	1.2749	1.2641
AUD/USD	0.8845	0.8852	0.8734

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16994.22	+274.83
S&P500	1968.89	+33.79
NASDAQ	4468.59	+83.39
その他主要株	終値	前日比
カナダ トロント総合	14666.47	+90.02
ロシア ボルサ指数	44487.97	-48.65
ブラジル ボベスパ指数	57058.48	-377.85

10/9 経済指標スケジュール

08:01	【英】9月RICS住宅価格
08:50	【日】8月機械受注
09:30	【豪】9月失業率
09:30	【豪】9月雇用者数
09:30	【豪】9月労働参加率
15:00	【日】9月工作機械受注
15:00	【独】8月経常収支
15:00	【独】8月貿易収支
15:45	【仏】8月貿易収支
17:00	【欧】9月ECB月報
20:00	【英】政策金利発表
20:00	【南ア】8月製造業生産
21:30	【カナダ】8月新築住宅価格指数
21:30	【米】新規失業保険申請件数
21:30	【米】失業保険継続受給者数
22:00	【メキシコ】9月消費者物価指数
23:00	【米】8月卸売在庫
23:00	【米】8月卸売売上高

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1206.00	-6.40
NY 原油	87.31	-1.54
CME コーン	343.25	2.75
CBOT 大豆	935.00	-5.75

米債利回り	本日	前日
2年債	0.45%	0.51%
3年債	0.90%	0.95%
5年債	1.55%	1.63%
7年債	2.00%	2.05%
10年債	2.32%	2.35%
30年債	3.05%	3.05%

10/9 主要会議・講演・その他予定

- ・セントルイス連銀総裁 講演
- ・サンフランシスコ連銀総裁 講演

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 108.30 ユーロ/円 136.96 ユーロ/ドル 1.2650

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

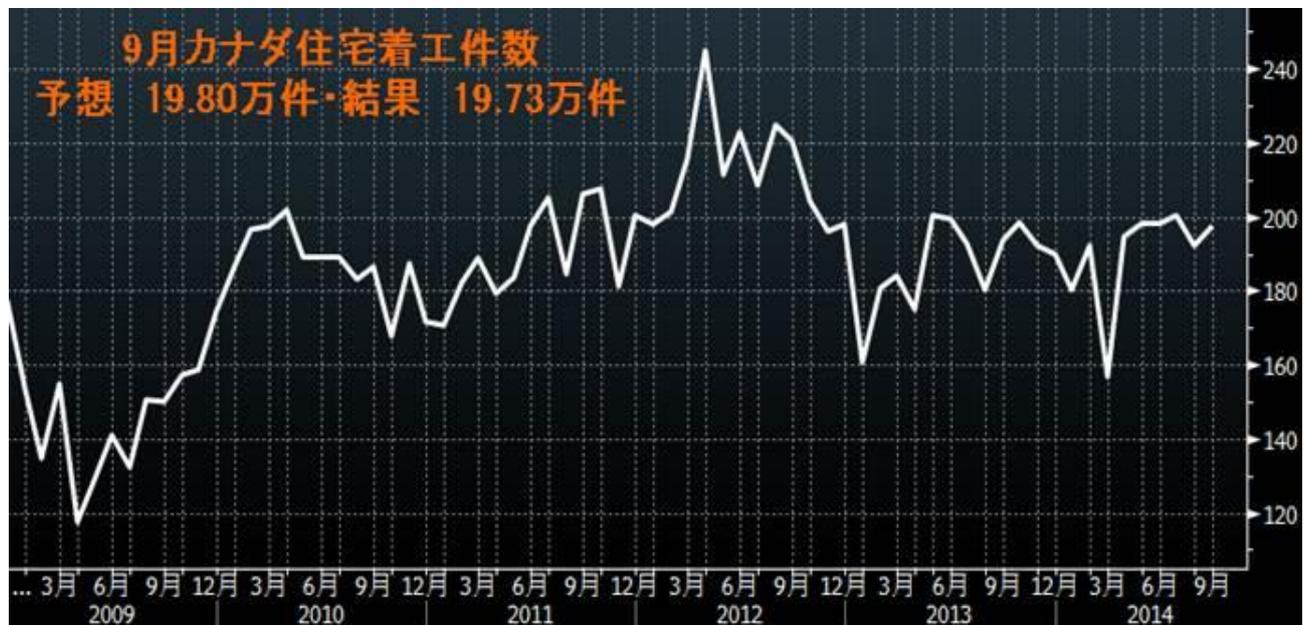
欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6492.12	-3.46	ダウ INDEX FUTURE	16681	+30
仏 CAC40	4200.46	-8.68	S&P500 FUTURE	1933.00	+5.10
独 DAX	9052.40	-33.81	NASDAQ FUTURE	3964.50	+8.25

(出所:SBILM)

21:13

<< 経済指標の結果 >>

9月カナダ住宅着工件数 19.73万件 (予想 19.80万件・前回 19.63万件)
 前回発表の19.24万件から19.63に修正



(出所:ブルームバーグ)

21:30

◀ 要人発言 ▶

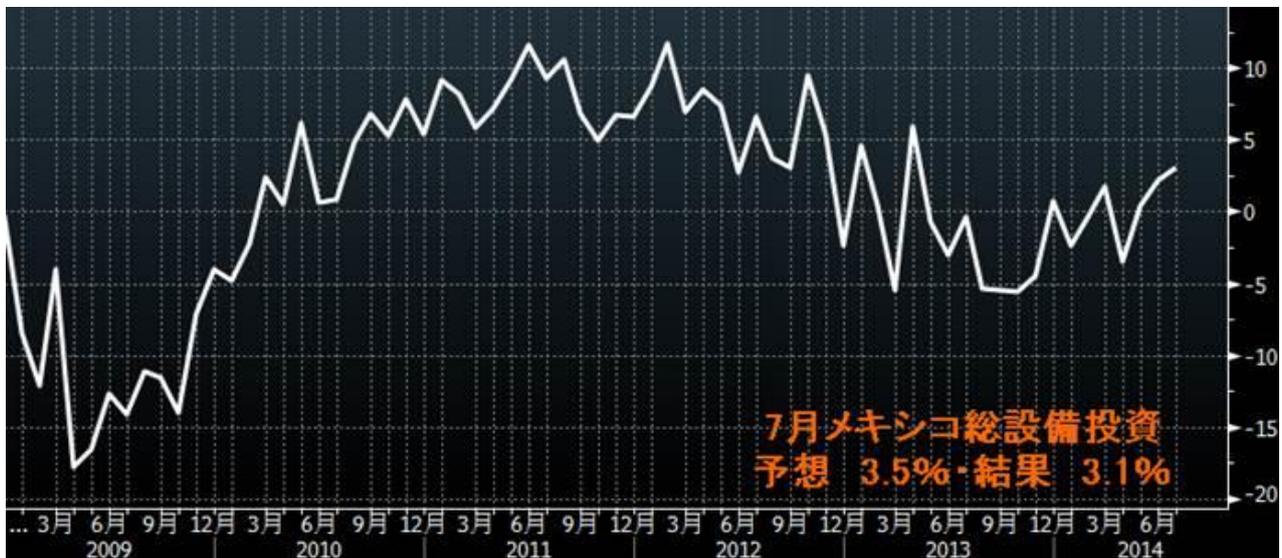
エバンス・シカゴ連銀総裁

- ・「失業率 5.9%は長期の中立的水準を依然上回っている」
- ・「労働力の未活用部分、引き続き大きい」
- ・「ドル高は輸出に打撃及ぼし、インフレ押し下げも」
- ・「FRB は向こう 2-3 年で 2 つの目標に近づこう」
- ・「海外経済の弱さ背景に一段のドル高の可能性も」
- ・「インフレ率が適当な期間内に 2%に達しない可能性懸念」

22:00

◀ 経済指標の結果 ▶

7月メキシコ総設備投資 3.1% (予想 3.5%・前回 2.3%)
 前回発表の 2.2%から 2.3%に修正



(出所:ブルームバーグ)

22:00

IMF が世界金融安定報告の残りの部分を発表

- ・「銀行は収益回復と融資増加のため事業モデル見直しが必要」
- ・「金融緩和の長期化で過度のリスクテイク助長も」
- ・「世界的に成長の勢いは依然力強さ欠き、下振れリスク高まる」
- ・「低金利環境の下で市場・流動性リスク高まった」

22:33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16709.15	-10.24
ナスダック	4381.08	-4.12

(出所:SBILM)

◀ 経済指標のポイント ▶

MBA (全米抵当貸付銀行協会) の住宅ローン申請指数は、前週比+3.8%となり、3週間ぶりに上昇となった。借り換え申請が増加したことが要因となった。構成指数の借り換え指数は+5.0%、購入指数は+2.4%とそれぞれ上昇となった。申請全体に占める借り換えの割合は 56.4% (前週 55.8%) となった。また、30 年固定金利型の住宅ローン金利は 4.30% (前週 4.33%) から低下。15 年固定金利型は 3.48% (前週 3.55%) 。

23 : 30

◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、前日に大幅下落した反動で割安感の出た銘柄に買い戻しが入った一方で、軟調な動きとなった欧州市場の動きを嫌気した売りが出るなど、主要株価は序盤からもみ合いの展開が続いている。

23 : 35

◀ EIA 米週間在庫統計 ▶

原油在庫・・・501 万バレル増加

ガソリン在庫・・・118 万バレル増加

留出油在庫・・・43.9 万バレル増加

◀ ポイント ▶

オーストラリア連邦統計局は、7 月から 9 月の雇用統計を見直すと発表。これにより、既に発表済みの 7 月と 8 月のデータで、8 月に記録した過去最高の就業者数の伸びが下方修正される可能性がある。統計局は、今年の 7-9 月は例年みられる季節的な要因がなかったことを踏まえ、季節調整済みで発表していた数字を修正する。9 月の雇用統計は 10 月 9 日に発表される。

8 月の就業者数は、季節調整済みで前月比+12 万 1000 人と、1978 年の集計開始以来で最高となった。市場予想を大きく上回ったため、アナリストの間ではデータの信頼性を疑問視する声が上がっていた。連邦統計局は「これら月間の季節調整済みデータの推計値は、季節調整前の数値と同じであることを意味する」と指摘。8 月の就業者数は季節調整前で前月比+3 万 2100 人、7 月の就業者数は季節調整前で前月比-1 万 1900 人だった。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6482.24	-13.34
仏 CAC40	4168.12	-41.02
独 DAX	8995.33	-9.88
ストック欧州 600 指数	328.00	-2.85
ユーロファースト 300 指数	1319.12	-10.64
スペイン IBEX35 指数	10339.00	-91.70
イタリア FTSE MIB 指数	19645.49	-126.22
南ア アフリカ全株指数	48033.62	-678.83

(出所:SBILM)

◀ 欧州株式市場 ▶

欧州株式市場は、IMF が前日に世界経済の成長率予測を引き下げたことで景気の先行きに懸念が広がったことや、エボラ出血熱の感染拡大への警戒感が嫌気され、主要株価は軟調な動きが続いた。



(出所:ブルームバーグ)

1:00

米主要株価・中盤

ダウ 16751.50 (+32.11)、 S&P500 1933.75 (-1.35)、 ナスダック 4384.18 (-1.02)

≪ NY 債券市場 ・午前≫

序盤のニューヨーク債券市場は、世界景気の先行き懸念から逃避買いが続く半面、米 10 年物国債入札を控えて持ち高調整の売りも出やすく、もみ合いの展開となった。また、FOMC 議事録の内容を見極めたいとの様子見ムードも強まっている。

午前の利回りは、30 年債が 3.05% (前日 3.05%)、10 年債が 2.34% (2.34%)、7 年債が 2.04% (2.05%)、5 年債が 1.62% (1.62%)、3 年債が 0.97% (0.94%)、2 年債が 0.50% (0.51%)

≪欧州のポイント≫

①英国求人雇用連盟の月例調査で、人材サービス会社の斡旋による正規雇用契約での採用の増加率が 9 月は過去 10 ヶ月で最低となり、契約賃金も伸び悩んだ。一方、有期契約社員の賃金は過去 7 年で最大の伸びを記録した。世界的に政治的不安が高まっている上、会計年度末を控えていることから、企業は正規雇用を控えたと報告されている。

②トルコのババジャン副首相は、世界経済の好ましくない情勢を理由に、2014 年と 2015 年の経済成長率見通しを引き下げたことを明らかにした。政府当局者らはこれまでに、イラクやシリア、ウクライナでの緊張に加え、欧州の景気低迷が国内経済に打撃を与えると警告し、中銀に利下げと景気刺激策を求めてきた。副首相は、2015-2017 年の経済計画について、成長促進と経常赤字削減とともに、インフレ抑制が引き続き主な優先事項になると指摘。インフレ率は年末に 9.4%と中銀予想の 5.3%を大きく上回り、その後 2015 年に 6.3%に低下する見込みとした。

③ドイツの主要経済研究所は、ドイツの GDP 伸び率予想について 2014 年を 1.3%、2015 年を 1.2%に大幅に引き下げる見通しとの報道。従来予想は 2014 年が 1.9%、2015 年が 2.0%。予想の発表は 9 日の予定。ドイツ経済は今年、力強いスタートを切ったものの、第 2・四半期には 0.2%のマイナス成長となった。一部のエコノミストは第 3・四半期にリセッションに陥る可能性があるかと警告している。

④ポーランド中銀は、政策金利である 7 日物レファレンス金利を 0.50%引き下げ、過去最低の 2.00%にした。デフレ長期化回避と景気にこ入れが目的で、利下げ幅は市場予想の 0.25%を上回った。利下げは 1 年 3 ヶ月ぶり。

⑤ノルウェーは、石油収入から過去最大額を取り崩して予算に充てる計画を明らかにした。連立与党が提案したのは、世界最大の政府系ファンドであるノルウェー政府年金基金グローバルから過去最大額の 1640 億クローネ (約 2 兆 7400 億円) を 2015 年の国家予算に充当する計画。今年の修正予算で認められている 1409 億クローネを上回り、基金の 3%に相当する。同基金の予算充当には 4%の上限が設定されているが、8500 億ドル相当 (約 92 兆円) の基金の資産拡大に伴い充当可能な資金額も増えている。

2:00

≪米財務省 10 年債入札≫

最高落札利回り・・・2.381% (前回 2.535%)

最低落札利回り・・・2.250% (前回 2.430%)

最高利回り落札比率・・・6.04% (前回 26.18%)

応札倍率・・・2.52 倍 (前回 2.71 倍)

≪ポイント≫

OECD (経済協力開発機構) が発表した 8 月の加盟 33 カ国の景気先行指数は 100.4 と前月からほぼ変わらずで、長期平均の 100 を上回った。2013 年 11 月以降 100.5 近辺で推移しており、「安定した成長の勢い」が確認された。ただ、ドイツの先行指数は 99.7 と 7 月の 100.1 から低下。イタリアでも失速の兆候が見られた。英国の先行指数は 100.7 で、7 月の 100.8 から小幅な低下にとどまり、安定成長が示された。日本は 99.8 から 99.6 に低下した。OECD はこれについて一時要因によるものと考えられるとしている。インドの指数は加盟国の中で唯一上昇、98.8 から 99.0 となった。

3:00

≪ FOMC 議事録 ≫

- ・「世界的な景気減速が米国の見通しへのリスク」
- ・「ドル高は輸出と成長へのリスクと判断」
- ・「フォワードガイダンスの変更には忍耐が必要」
- ・「ガイダンス変更は、データ次第だと強調すべきだとの声が大半」

《ポイント》

公開された FOMC の議事録では、フォワードガイダンスの変更の是非をめぐり活発な議論が交わされたことが明らかとなった。

そして、米経済見通しを脅かしかねない要因として、世界経済の成長減速とドルの上昇を挙げていることが明らかになったことや、多くの参加者が「海外の経済成長が予想よりも弱かった場合、米国の経済成長のペースが予想以上に減速する可能性がある」と述べていたことが明らかとなった。

また、一部では「相当な期間」の文言に関し、投資家に誤った印象を与える恐れがあるとの懸念が出ていたことが明らかとなり、「現在のフォワードガイダンスにある『相当な期間』について、指標次第ではなく、コミットメントと誤解される可能性があるとの懸念が上がった」としている。

3 : 30

NY 金は、中心限月が前日比 6.40 ドル安の 1 オンス=1206.00 ドルで取引を終了した。

4 : 10

NY 原油は、中心限月が前日比 1.54 ドル安の 1 バレル=87.31 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1206.00	-6.40
NY 原油	87.31	-1.54

(出所:SBILM)

《 NY 金市場 》

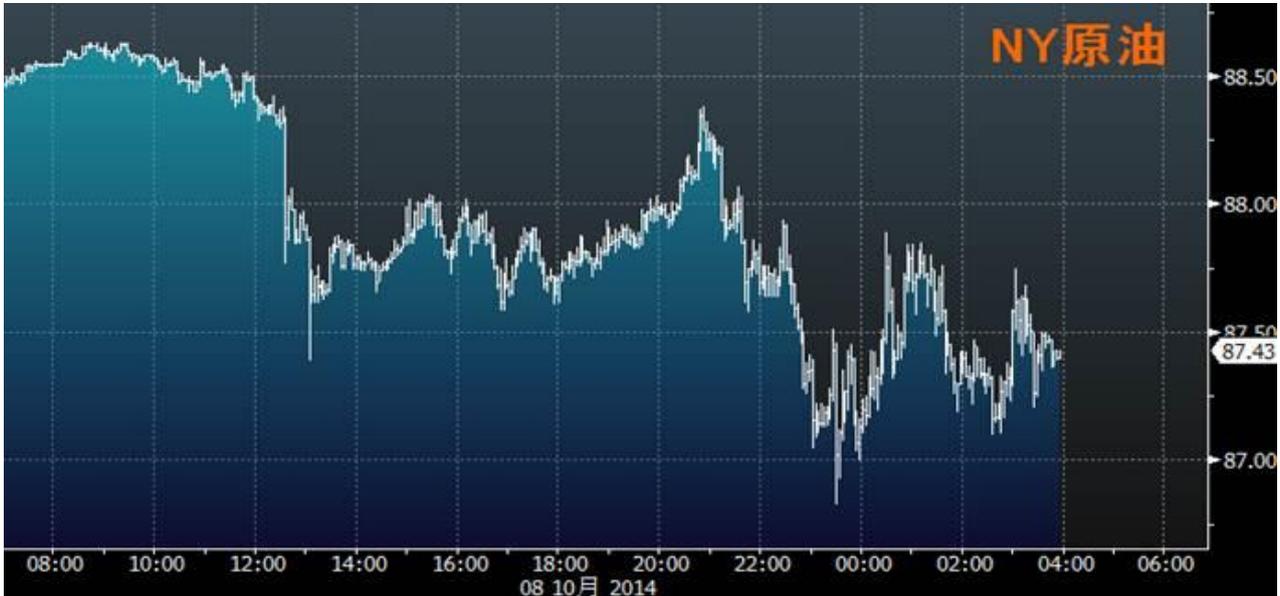
NY 金は、前日までの相場上昇の反動で、売りが優勢となった。ただ、通常取引終了後の時間外取引では、FOMC の議事録公表を受けて、ドルがユーロなどに対して下落したのをきっかけに、ドルの代替資産とされる金を買い戻す動きも出ていた。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、米石油在庫統計で原油在庫が市場の予想以上に増加したことから、需給の緩みに対する警戒感が強まった。また、世界景気の減速懸念を背景にエネルギー需要が鈍化するとの見方が広がっていることも、引き続き圧迫材料となった。終値ベースでは、約1年半ぶりの安値水準となった。



(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16994.22	+274.83	17006.91	16663.26
S&P500種	1968.89	+33.79	1970.36	1925.25
ナスダック	4468.59	+83.39	4473.73	4355.35

(出所:SBILM)

《 米株式市場 》

米株式市場は、前日に大幅下落した反動で割安感の出た銘柄に買い戻しが入った一方で、軟調な動きとなった欧州市場の動きを嫌気した売りが出るなど、主要株価は序盤からもみ合いの展開が続いた。その後、FOMCの議事録公開で利上げ時期に関する手掛かりが無く、利上げ期待が後退したことから、主要株価は大幅に上昇する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤からもみ合いの展開が続いたものの、終盤には一時前日比287ドル高まで上昇する動きとなった。



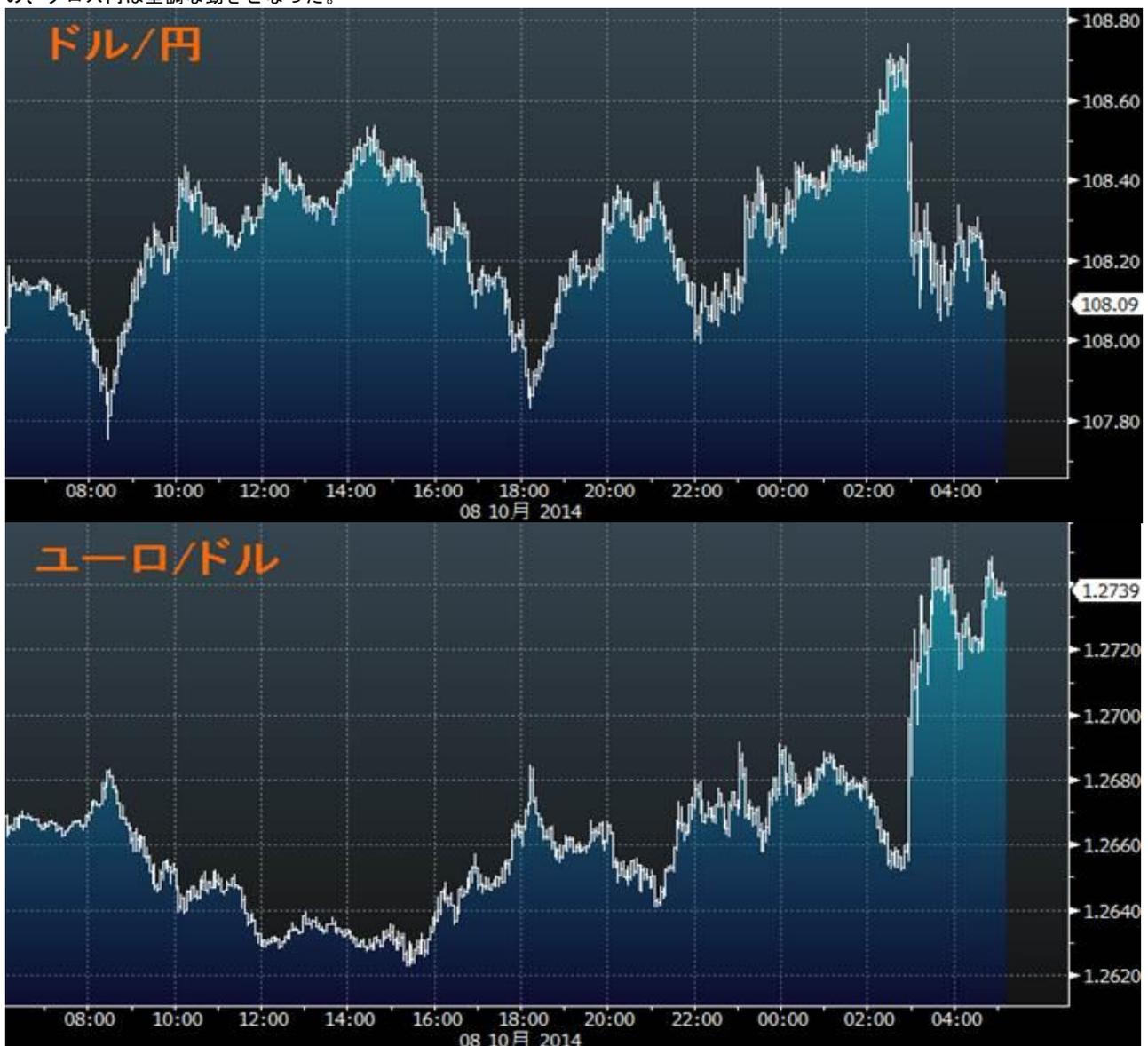
(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	108.15	108.75	108.00
EUR/JPY	137.74	137.94	136.90
GBP/JPY	174.91	174.97	173.79
AUD/JPY	95.65	95.70	94.71
NZD/JPY	85.50	85.57	84.39
EUR/USD	1.2737	1.2749	1.2641
AUD/USD	0.8845	0.8852	0.8734

(出所:SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、米国の主要な経済指標の発表がなく、取引材料に乏しい中、序盤のドル円・クロス円はやや軟調な展開となった。その後は、堅調な株価動向を背景に、円売りが優勢となった。そして、FOMCの議事録公開では、早期利上に関する手掛かりが無かったことから、株価が一段の上昇となり、ドルが主要通貨に対して下落する動きとなった。ドル/円は大きく下落したものの、クロス円は堅調な動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。